

水稲早生奨励品種 祭り晴 栽培暦 (平坦地 6月上旬植用)

大阪府環境農林水産総合研究所

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上						
生育ステージ				は出	緑	硬	田	活	分	最	幼	穂	出	穂	登	成												
				種芽	化	化	植	着	げ	高	穂	ば	穂	揃	熟	熟												
生育ステージ				期	期	期	期	期	つ	分	形	ら	期	期	期	期												
									期	げ	成	み																
									つ	期	期																	
									期																			
						育	苗	活	着	有効	分	げ	つ	無効	分	げ	つ	幼穂	形成	・	穂	ば	ら	み	登	熟		
水管理				入水代かき			やや浅水			中干し			間断かんがい			湛水			間断かんがい			落水						
施肥				土壌改良資材			基肥			穂肥			穂肥			土づくり												
除草剤							初中期一発剤			後期剤 z																		
病虫害防除				箱施用			葉いもち			穂ニウコ いカンブ もメカノ ちイ チ ユウ			カヨウ メコン ムバカ シイ			ウンカ												

「祭り晴」は短稈で優れた耐倒伏性を持つが、食味を低下させず病虫害の発生を抑えるために基肥窒素は10aあたり5～6kg以内とする。穂肥は10aあたり窒素3～4kg以内とし、出穂21日前～10日前にできれば2回に分けて施用する。基肥と穂肥トータルで10aあたり窒素8～10kg以内とする。いもち病耐性に優れるが過信は禁物なので、特に中山間では箱施用剤および本田防除を励行すること。籾の休眠が深めで発芽が遅く、苗の伸びも遅いので発芽器の温度に注意する。ただし育苗時の過度の高温による徒長苗には注意する。刈り遅れのないように適期収穫すること。(穂の籾のうち根元の2割程度がまだ帯緑した時期が適期。出穂からおおむね45日くらい)